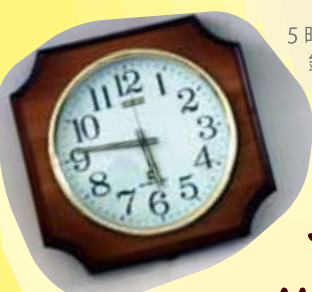




焼け跡（神戸市長田区）
兵庫県企画管理部知事室広報課 寄贈写真

記憶を残す、 見せる、 伝える。



5時46分で止まった掛時計
鈴木邦宏氏 寄贈

開設 10 周年記念

人と防災未来センター 災害ミュージアム研究塾 2012 年度 後期シリーズ

人と防災未来センターでは、設立以来10年にわたり、国内外の災害・防災の資料収集や展示に取り組んでいる施設・団体とのネットワークづくりを通じ、災害の資料展示のあり方を探ってきました。

これまでの取り組みの成果を皆様と共有するための公開セミナー、6回シリーズの後半をご案内します。

全国各地のミュージアムから講師をお招きし、災害の記憶の伝え方や、それにおけるミュージアムの役割について学びます。

災害資料の展示・活用の最前線を学ぶ貴重な機会です。ぜひご参加ください。



溶けた硬貨（缶入）
大貫計一氏 寄贈



千羽鶴
ポートアイランド第2仮設住宅ふれあいセンター 寄贈

※人と防災未来センターに寄贈されている震災資料より

主催：阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 研究部・資料室

お申し込み
お問い合わせ

■お申込方法

WEB サイト <http://www.hitobou.com/kenkyu/> または E-mail hitobou-shiryoushitsu@dri.ne.jp からお申込みください。
下記の参加申込書により、FAX 078-262-5062 にてのお申し込みも可能です。

■お問い合わせ

公益財団法人ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 人と防災未来センター 資料室 担当：石原・高森
Tel：078-262-5058 Fax：078-262-5062 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2

人と防災未来センター 災害ミュージアム研究塾 参加申込書

ふりがな お名前	参加日程 ※参加を希望する日程に全てチェックしてください。 <input type="checkbox"/> 第4回：1月26日（土） <input type="checkbox"/> 第5回：2月10日（日） <input type="checkbox"/> 第6回：3月9日（土）
所属	
電話番号	
E-mail	

申し込み受付後、受付確認および詳細を FAX またはメールにて返送します。
お申し込み後、5日以上経過しても返信が届かない場合は、お手数ですが、お問い合わせ先までご連絡ください。

シリーズ
第4回

2013年1月26日(土) 13:00 ~ 16:00 *13:00からの開催です!

地域を拠点とした被災経験の継承 — 阪神・淡路大震災と東日本大震災 —

講師 おらが大槌夢広場
野田北部・たかとり震災資料室 河合節二氏
神戸市立地域人材支援センター 内屋敷保氏

阪神・淡路大震災の教訓を発信する団体のなかには、震災の記憶がよみがえるような、地域にとってかけがえのない場所で活動を行っている団体があります。東日本大震災においても、地元に着した活動を行いながら、震災資料の保存・活用に取り組んでいる団体があります。

この回では、阪神・淡路大震災の教訓を発信を行っている二つの団体のスタッフをお招きし、震災当時にボランティア拠点や避難所となった場所で、震災を伝える活動について、活動の内容と想いをお話いただけます。また、東日本大震災の被災地からは、岩手県大槌町に新たに設置された NPO「おらが大槌夢広場」のスタッフをお招きし、仮設の復興館で資料展示や、リアルタイムで町内外に情報を発信する「大槌新聞」の取り組みをご紹介します。



シリーズ
第5回

2013年2月10日(日) 14:00 ~ 16:00

長田区役所職員による阪神・淡路大震災の記憶継承の取り組み — 人・街・ながた震災資料室の事例 —

講師 人・街・ながた震災資料室

神戸市長田区は阪神・淡路大震災で大きな被害を受けた地域のひとつです。長田区役所の職員は、経験したことのない災害対応業務に日夜従事しました。そのような経験を風化させず、後世へ活かすために、区役所内に職員のボランティアの運営による「人・街・ながた震災資料室」が開設されました。地域密着型の震災資料の収集・保存と、手作りの展示を企画・運営しているスタッフをお招きし、区役所職員のボランティアならではの経験と、地域に密着した震災資料に込められた想いについてお話いただけます。



シリーズ
第6回

2013年3月9日(土) 14:00 ~ 16:00

災害記念館からジオミュージアムへ

講師 雲仙岳災害記念館副館長,
第5回ジオパーク国際ユネスコ会議事務局 杉本伸一氏

雲仙岳災害記念館は、1990年から95年の雲仙普賢岳の噴火活動を中心に、自然の脅威と災害の教訓を後世に残すために設立されました。見て触れて、リアルに体感しながら、わかりやすく学習できる日本で唯一の「火山体験ミュージアム」です。また、島原半島世界ジオパークの認定に伴い、ジオパークの中核施設としても位置付けられています。雲仙岳災害記念館は、開館から10年を迎え、災害の展示施設から、防災教育やジオパークを推進するためのジオミュージアムへと生まれ変わろうとしています。このような雲仙岳災害記念館の今日までの取り組みと、今後の展望を紹介します。

また、今回の公開セミナーシリーズの総括として、各界の発表内容を通して見えてきた災害ミュージアムの役割や、災害の記憶の伝え方について、参加者のみなさんと考えます。



阪神・淡路大震災記念
人と防災未来センター

TEL 078-262-5050 FAX 078-262-5055 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 観覧案内

www.dri.ne.jp



www.facebook.com/hitobou.kikaku



@hitobou_event

お申し込み方法は表面にあります。
ファックスのフォームもあります。
ご利用ください!

<http://www.hitobou.com/kenkyu/>
災害ミュージアム研究塾 特設サイト